

月刊 ととろ



独立行政法人国立病院機構
いわき病院

第210号

令和3年11月発行

National Hospital Organization Iwaki National Hospital

信条

- ◆ 患者さま本位の医療を行います
- ◆ 患者さま及び家族の生活を大事にします
- ◆ 科学的根拠に基づいた質の高い医療を提供します

第75回国立病院総合医学会

第75回国立病院総合医学会（仙台）は、会長：国立病院機構仙台医療センター院長 上之原広司先生、副会長：国立病院機構米沢病院院長 飛田宗重先生、国立病院機構宮城病院院長 永野 功先生等のご尽力により、テーマとして『社会の大転換期における国立医療 救う、支える、育む、拓く～連帯と挑戦～』を掲げ、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の影響により、昨年同様 WEB 開催（オンデマンド配信）となり、2021年10月23日（土）～11月20日（土）開催されました。

当院の発表は2題でした。何れも Web 形式によるポスターセッションであり、

- ① リハビリテーション科小西 健太 理学療法士が、「当院の ALS 患者における装着型サイボーグ HAL®の介入効果について～第2報～」
- ② リハビリテーション科渡邊大介 言語聴覚士が、「内部障害の合併により嚥下障害の治療に難渋したが、訓練により回復が図れたパーキンソン病患者の1例」を、発表しました。

コロナ禍の影響による WEB 形式でのポスター発表でしたが、この経験を生かし内容を十分精査検討し、今後も研究を続けていって欲しいと思います。

今回の経験を活かし、次回はさらに数多くのすばらしい研究成果が発表されることを期待したいと思います。

副院長：鈴木 栄

社会の大転換期における国立医療
救う、支える、育む、拓く～連帯と挑戦～

第75回
国立病院総合医学会

会長 上之原 広司 副会長 飛田 宗重
国立病院機構 仙台医療センター 院長 国立病院機構 米沢病院 院長
永野 功 国立病院機構 宮城病院 院長

2021 10/23 (土) WEB開催
オンデマンド配信期間：2021年10月23日（土）～11月20日（土）

国立病院機構 仙台医療センター 日本コンベンションサービス株式会社 東北支社
〒985-0829 仙台市東区東原町2-11-12 〒980-0824 仙台市東区東原町4-54 支店2号館
TEL: 022-722-1101 FAX: 022-722-1179 E-mail: 75nms@convention.co.jp

<https://site2.convention.co.jp/75nms/>

看護学生の 実習指導を通して 学んだこと



今回、いわき市医療センター看護専門学校の学生さんが、10月5日から11月10日まで5日間10名ずつ当院で実習をしました。昨年はコロナ禍ということもあり、患者さんには直接触れられず、ソーシャルディスタンスをとり見学のみという実習でした。今年は、ワクチン接種がすすんでいること、感染者の減少により、これまで通りの患者さんとのコミュニケーションや指導者と共にケアに入れる実習となりました。

当院に入院されている神経難病患者さんの多くは、疾患の進行により日常生活全般に介助を要する 경우가多く、コミュニケーションにも困難さを抱えています。そのため、実習初日は学生さんも自分に何ができるのかと悩み、慣れない環境への緊張も影響し戸惑っていると感じました。そこで、担当看護師は看護実践を通して、患者さんと学生さんとの間を取り持ち看護への思いを刺激します。すると、患者さんと直接コミュニケーションを図るために文字盤を練習し、患者さんと関わりたいと話してくる姿がありました。主体的に実習に取り組む姿を見て、成長を感じる一場面がありました。受け持ち患者さん以外にも、医師による医療処置を見学することができ、学生さんはまさに医療の現場を体感していました。臨床の場は学校で学んだ知識と看護の実際を、患者さんの反応で結び付けられる貴重な体験の場です。学生さんは素直な感性で、看護はすごい、実習は楽しいなど体感してくれました。

看護学生の意欲や関心を刺激できたと実感する場面に多く出会えたことは、実習指導者として自分の成長にも繋がりました。実習は患者さんの協力があって実現します。患者さんに深く感謝し、学生さんたちの今後の活躍に期待し、共に看護ができることを楽しみにしようと思います。

第2病棟 看護師：馬上 晃一



やって良かったMRI②

当院で実施して良かった MRI 検査を紹介してゆくシリーズです。

前回 DWIBS という撮影方法を紹介しました。今回もつづけて DWIBS 法を紹介します。

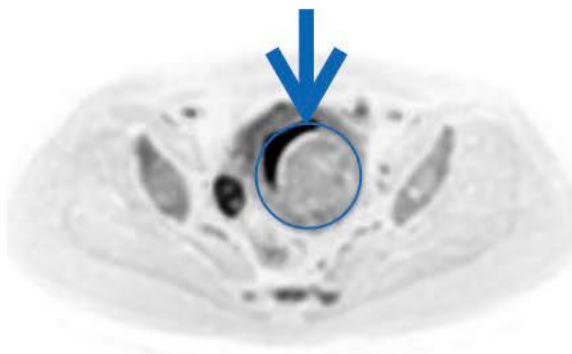
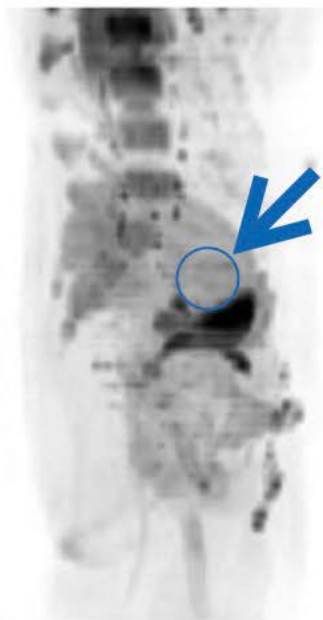
この撮影は MRI 装置を使用して全身の拡散強調画像を撮像し、がんや転移がないかを探す検査ですが良性の腫瘍も同様にみつけることができます。

今回の画像は子宮筋腫です。別件で DWIBS 撮影となったので、症状もなく偶然みつけることが出来た例です。

DWIBS の検査時間は約 40 分、空腹時（最終食事から 3、4 時間後）に検査を行います。

***** 当院では共同利用の他、撮影だけが必要な患者紹介受け入れを推進しています。最短で当日撮影が可能です。共同利用に興味のある方は契約係、患者紹介が必要な方は地域連携室までご連絡ください。（代表電話番号 0246-88-7101）

診療放射線技師長：齋藤 雅伸





NHO PRESS ~国立病院機構通信~

いわき病院は、全国 140 病院からなる国立病院機構 (NHO: National Hospital Organization) のひとつです。

NHO では各病院の活動を紹介する『NHO PRESS』を発行しています。

外来待合室などに設置しています。ぜひご覧になってください。

国立病院機構ホームページでは最新号と過去の『NHO PRESS』を掲載しています。



QRコード

NHO PRESS

検索

いわき病院の診療体制等について

- 診療科目 内科、脳神経内科、外科、脳神経外科、小児科 (小児神経疾患)、リハビリテーション科
- 外来受付 8:30~11:30 (ただし、急患につきましては電話にてご相談下さい。)
- 診療時間 8:30~17:15

外来担当医師診療日程表 【平成31年4月~】

| 区分 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|-----------------|-----------------------------------|--------------|-------------------|-----------------------|------------------|
| 午前 | 内科 診察室① 鈴木 診察室② 市原 | 診察室① 無量井(第2) | 診察室① 鈴木 診察室② 齋 | | 診察室③ 仙台医療センター |
| | 脳神経内科 診察室③ 尾田宣仁 | 診察室③ 會田隆志 | 診察室③ 尾田宣仁 | 診察室① 関/會田 (交代制) | 診察室① 関 晴朗 |
| | 外科 | | | 診察室② 田崎 博 | |
| 脳神経内科専門外来 (予約制) | | | | | |
| 午後 | 神経難病 神経筋疾患 《診察室①》 | | (脳神経内科) 関 晴朗 | | |
| 小児神経外来 (予約制) | | | | | |
| 午後 | 小児神経外来 《診察室①》 (小児科) 柳沢俊郎 | | | | (小児科) 柳沢俊郎 |



お知らせ

◆患者相談窓口

患者さんやお見舞いの方などからの苦情・相談については、『患者相談窓口』と『ご意見箱』で対応しています。なお、皆様にお知らせした方が良い内容のものは、外来掲示板に掲示しています。

◆当院受診について

他の医療機関に通院中の方は、主治医の先生に当院地域医療連携室を通して診療予約をとって頂いた上で来院願います。



発行元 **独立行政法人国立病院機構 いわき病院**

National Hospital Organization Iwaki National Hospital

責任者 院長 関 晴朗

所在地 〒971-8126 福島県いわき市小名浜野田字八合 88 番地 1

TEL 0246-88-7101 FAX 0246-88-7075

ホームページ <https://iwaki.hosp.go.jp/>